

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)柏市豊四季台計画 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE 柏2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		評価点		重み係数		全体	
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数				
Q 建築物の環境品質									3.1
Q1 室内環境			0.40		-				3.3
1 音環境		2.0	0.15	2.9	1.00				2.8
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50				
1.2 遮音		1.0	0.50	2.9	0.50				
1 開口部遮音性能		1.0	1.00	3.0	0.30				
2 界壁遮音性能	D-50を確保する計画とした	3.0	-	4.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	2.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	2.0	0.20				
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-				
2 温熱環境		2.2	0.35	3.0	1.00				2.8
2.1 室温制御		2.2	0.50	3.0	1.00				
1 室温		3.0	0.63	3.0	0.63				
2 外皮性能		1.0	0.38	3.0	0.38				
3 ゾーン別制御性		1.0	-	-	-				
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-				
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-				
3 光・視環境		1.9	0.25	3.5	1.00				3.2
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.0	0.50				
1 昼光率	共用部5.2%、住居部5.2%程度	5.0	0.60	5.0	0.50				
2 方位別開口		3.0	-	3.0	0.30				
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20				
3.2 グレア対策		1.0	0.30	3.0	0.50				
1 昼光制御	カーテン及びバルコニー庇の組合せで制御	1.0	1.00	3.0	1.00				
3.3 照度		1.0	0.15	-	-				
3.4 照明制御		1.0	0.25	-	-				
4 空気質環境		4.2	0.25	4.2	1.00				4.2
4.1 発生源対策		5.0	0.60	5.0	0.63				
1 化学汚染物質	内装材及び断熱材においてF☆☆☆☆の材料を採用	5.0	1.00	5.0	1.00				
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38				
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33				
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33				
4.3 運用管理		3.0	-	-	-				
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-				
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-				
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-				2.6
1 機能性		3.0	0.40	2.4	1.00				2.4
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	2.0	0.60				
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-				
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	2.0	1.00				
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-				
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40				
1 広さ感・景観	居室の天井高2.45m以上	3.0	-	3.0	0.50				
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-				
3 内装計画	コンセプトを明確にし、事前検証を行っている	3.0	1.00	3.0	0.50				
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-				
1 維持管理に配慮した設計	標準よりも配慮した計画	4.0	0.50	-	-				
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50	-	-				
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-				3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.8	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数	住宅性能表示制度 構造躯体劣化等級3相当	5.0	0.20	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	ビニルクロス貼20年で評価	4.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	ステンレスダクトを用い、長寿命化を図っている	4.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	2種類以上にB以上を採用し、Eは不使用	5.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
2.4 信頼性		2.4	0.20	-	-				
1 空調・換気設備		1.0	0.20	-	-				
2 給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-				
3 電気設備		3.0	0.20	-	-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-				
5 通信・情報設備	インターネット用に光ケーブル、電話用にメタルケーブルを実装	4.0	0.20	-	-				

3 対応性・更新性			2.8	0.30	2.2	1.00	2.2
3.1 空間のゆとり					1.4	0.50	
1	階高のゆとり	階高は2870以上とし、居室の天井高を2450以上確保した	5.0	-	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.8	1.00		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		2.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		豊四季台景観重点地区の景観基準を順守した計画とした	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		空地率63.78%	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー対策等級3相当	3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.98	3.2	0.50	-	-	3.2
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価							
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		内装二重壁工法により躯体と仕上げ分別可能	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.5	0.20	-	-	3.5
3.1 有害物質を含まない材料の使用		指定科学物質を含有しない壁紙用接着剤使用	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.70	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤を使用しない	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮		シンプルエコジョーズを採用しエネルギー効率化を高め地球温暖化に配慮	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮			2.0	0.33	-	-	2.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	十分な駐車台数と駐車スペースの配置・形状を配慮	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	
2	振動		3.0	0.50	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告照明を行っていない	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	